



### 『自分の命を守る』

4月21日(金)に第1回避難訓練が、5月2日(火)に交通安全教室が行われました。いずれも、災害や事故から「自分の命を守る」ために、自分自身に何ができるか考える大事な時間となりました。

避難訓練では、学校長からは以下のような話がありました。

「命には目的はありません。授かった命を守りきることが大切です。今日の避難訓練を振り返ってほしいと思います。『自分の命を守る』この意味を考えることができましたか。適切な判断をすることができましたか。一人でも自分の命を守りきることができそうですか。

(中略)もし、災害に遭遇したときに『自分の命を守る』ためには、①情報を集める ②適切な判断をする ③判断に基づき行動する、この3つのことを心構えとして、胸に刻んでほしいと思います。」

また、交通安全教室では須坂警察署の川口巡査様、交通安全センター5名の方を招きグラウンドで実演を通して学びました。実演では「自分の命を守る」ために以下の3点について教えていただきました。



- ① 運転席からは歩行者が見えない「死角」があること。
- ② 左折する際に車には内輪差が生まれる。車からよけているつもりでも巻き込まれる危険性があること。
- ③ 車がブレーキをかけてから止まるまでには予想以上に時間がかかること。



\*運転席からサイドミラーでどのくらい見えるか体験しました。実際に1年生が並んでみると、サイドミラーから確認できるのは、前から3人だけでした。後方の矢印の辺りにいる人は全くサイドミラーでは確認できないことが分かりました。



\*車が曲がる時は内輪差がうまれます。交差点で待つときは、なるべく歩道の内側で待つことが大切だと学びました。大型車の左折時は特に注意が必要です。

須坂警察署の川口巡査様からは、『自分の命を守る』ための自転車の乗り方について以下の3点についてお話いただきました。

- ① 自転車に乗るときは、自転車に反射板を必ず付けること。また、ヘルメットは顎ひもをしっかりと締めてかぶること。
- ② 自転車は、乗り方によっては加害者にもなり得ることがある。スピードの出し過ぎや飛び出しには十分注意すること。
- ③ 車がブレーキをかけてから止まるまでには予想以上に時間がかかること。

生徒と共に、教員も災害時にどう行動すべきか考え、交通安全に努めようと決意を新たにした2日間でした。

# 1 学期前半の常盤中学校の様子



## 修学旅行

今年は河村能楽堂で能楽を体験しました。張り詰めた空気の中、日本の伝統芸能の奥深さと迫力に触れ、身の引き締まった瞬間でした。

## 須坂支援学校との対面式

今年も須坂支援学校の友だちと交流が始まりました。さっそく鎌田山登山では給水係をしてもらいました。これからも常盤祭や校友会の活動で交流していきます。



## 常中駅伝

恒例の駅伝。新記録も出ました。毎年、部活動や学級、有志で出場します。応援にも力が入り、学校全体が一つになりました。



## 妙高自然体験学習

1年生の仲間づくりを目的とした宿泊学習。まさに、寝食を共にし、仲間とのきずなが深まった2日間でした。心配された雨の合間を縫ってすべての活動が行われました。自覚と責任をもち活動する生徒の姿は少し大人びて見えました。

## 70周年テーマ『地域とともに 未来に向けて 新たな一歩を踏み出す』

今年度、常盤中学校は70周年を迎えます。そこで、式典行事を常盤祭の2日目に行うため、例年とは予定が変わります。毎年、音楽会や各発表を楽しみにされている方もいらっしゃると思いますので、現時点の予定をお知らせします。詳細は追ってお知らせします。特に、音楽会が29日(金)となっておりますのでご注意ください。

### 【平成29年度の70周年常盤祭の予定】

○9月29日(金)

【午前】 開祭式、校友会企画、部活動の発表(吹奏楽部、合唱部、技術部)

【午後】 音楽会

○9月30日(土)

【午前】 70周年式典行事(式典、学習発表会、パネルディスカッション)

【午後】 閉祭式

「～絆～コンサート」にお越しください  
以前、各家庭にご案内させていただきました。  
常盤中の歌声を聞きにいらしてください。